

Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/>

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『月刊文化沖繩』解説・総目次・索引

不二出版

『月刊文化沖繩』 原本と復刻版の対照表

(注) 通巻数は編集部作成

復刻版 巻数	通巻数	原本巻号	発行年 月	表紙表記	本文 頁数	判型	摘要
第1巻	1号	1巻1号	1940年 8月	8月創刊号	32	B 5	編集発行人・本山豊 1巻2号墨有り
	2号	1巻2号		9月 9月号	32		
	3号	1巻3号		10月 10月号	32		
	4号	1巻4号		11月 11月号	32		
	5号	1巻5号		12月 12月号	32		
	6号	2巻1号	1941年 1月	1月2月合併号	36		この号以降、表紙に 「新体制規格版」表記 2巻1号墨有り
	7号	2巻2号		3月 3月号	32		
	8号	2巻3号		4月 4月号	32		
	9号	2巻4号		5月 5月号	32		
	10号	2巻5号		6月 6月号	32		
第2巻	11号	2巻6号	1941年 7月	7月号	32	B 5	この号以降、表紙に 「日本規格版B列5 番」表記
	12号	2巻7号		8月 8月号 創刊1周年記念	36		
	13号	2巻8号		9月 9月号	32		
	14号	2巻9号		10月 10月号	32		
	15号	2巻10号	1941年 11月	11月号	32		
	16号	2巻11号		12月 12月号	32		
	17号	3巻1号	1942年 1月	1月新春号	32		
	18号	3巻2号		2月 2月号 南進問題特輯号	32		
	19号	3巻3号		3月 3月号	32		
	20号	3巻4号		5月 4・5月合併号	32		
第3巻	21号	3巻5号	1942年 7月	7月革新号	38	A 5	この号から編集発行人・馬上太郎。判型 表記もなくなる
	22号	3巻6号		8月 8月躍進号	36		
	23号	3巻7号		9月 9月号	48		
	24号	3巻8号		10月 10月号	48		
	25号	3巻9号		11月 11月号	56		
	26号	3巻10号	12月 12月号	50			
	27号	4巻1号*	1943年 1月	1月号	60		*原本表紙は、4巻 11号と誤植
	28号	4巻2号		2月 2月号	44		
	29号	4巻3号		3月 3月号	44		
	第4巻	30号		4巻4号	1943年 4月		
31号		4巻5号		5月 5月号		48	
32号		4巻6号	6月 6月号	50			
33号		4巻7号	7月 7月号	40			
34号		4巻8号	8月 8月号 琉球芸術展望号	40			
35号		4巻9号	9月 9月号	40			
36号		4巻10号	10月 10月号 生活の科学化号	42			
37号		4巻11号	11月 11・12月合併号	38			
38号		5巻1号	1944年 1月	新年号		44	
別冊	解説・総目次・索引						

第一卷第一号 *通卷第一号

八月創刊号

昭和十五年八月十五日発行

〔城間正安〕

大城 朝貞

16 | 19

文化沖縄抄―映画鑑賞会生る／ロード

ショウ／石井みどり／沖縄の姿／土と

兵隊／海洋飛躍史／標準語問題 (写

真・馬上太郎氏)

18

表紙 絵「琉球の姫」 金城安太郎

表 1

*広告 祝創刊／上山草人をめぐる会

表 2

琉球歴史読本・第一章 天孫子時代

口絵 写真「デイゴ、琉球の夏、夏薫る」

石川 文一

20 | 21

撮影・今井小四郎／曲田益雄

(1) | (4)

琉球王国『御法條』より

八月創刊号目次

(5)

読切時代小説「復讐」(絵／金城安太郎)

随想

6 | 12

編輯の辯 石川 文一

22 | 32

郷土の映画

北川 鐵夫

6 | 8

「同人一言」 本山裕兒／石川文一／金城安太郎

表 3

琉球史研究資料「琉球と鹿児島」

N・O・N

8

奥付 城安太郎

表 3

沖縄語彙(絶筆)

馬天居士

9 | 11

*広告 歌集『紙錢を焼く』山城正忠著

表 4

初夏の故郷へ

伊波 南哲

11 | 12

蛙鳴蟬噪 本山 裕兒

表 3

琉球舞踊―日劇の「八重山群島」を見る

内田岐三雄

13

第一卷第二号 *通卷第二号

九月号

あゝの頃の話―琉球の佐倉宗五郎 (写真

宮良 當壯

14 | 15

昭和十五年九月十五日発行

15

東北方言の調査を終りて

宮良 當壯

14 | 15

あゝの頃の話―琉球の佐倉宗五郎 (写真

15

あゝの頃の話―琉球の佐倉宗五郎 (写真

宮良 當壯

14 | 15

あゝの頃の話―琉球の佐倉宗五郎 (写真

15

あゝの頃の話―琉球の佐倉宗五郎 (写真

宮良 當壯

14 | 15

あゝの頃の話―琉球の佐倉宗五郎 (写真

15

表紙 絵「糸満娘」	金城安太郎	表 1	展望		19
*広告 歌集『紙銭を焼く』山城正忠著		表 2	世相談義―喫茶店の巻		21
口絵 写真「壺の創作、琉球は招く、あ る点描」撮影：今井小四郎／外山貞雄		(1)―(4)	読切現代小説―二つの世界(絵／金城安 太郎)	本山 裕兒	22―27
九月号目次		(5)	文化沖繩抄―文化映画・龍宮の幻想／ 琉球の風物／琉球の民藝		27
沖繩の文化	杜聖 林雄	6―7	沖繩の狂歌について	恩河しげる	28
琉球歴史読本・第二章 為朝時代(一)	石川 文一	8―10	苔の下 平敷屋朝敏・作	挿絵・金城 安太郎	29―32
蛙鳴蟬噪	本山 裕兒	11	編輯の辯	島袋 全發	表 3
蠹簡抄	山城 正忠	12―14	奥付		表 3
*画 塩屋スケッチ	山城 正忠	13	*広告 祝発刊 大阪商船株式会社		表 4
愛惜の沖繩	前澤 末彌	14			
あの頃の話―上の芝居／下の芝居／競			第一巻第三号 *通巻第三号		
争時代(写真「平良良勝」)大城 朝貞		15―17	十月号		
予告「辻の話」		17	昭和十五年十月十五日発行		
原稿募集		17			
実話―沖繩で最初に死刑になった男					
	又吉 盛二	18―21	表紙 絵「琉球の姫」	金城安太郎	表 1
郷土芸術家伝―平敷屋朝敏		16	*広告 情脈社発行叢書歌集		表 2
新聞の新聞―世相に反響する新聞界の			口絵 写真「守禮之邦、南島の秋色、紺		

地の美」 撮影・外山貞男／梅里政 (1) - (4)

十月号目次 (5)

来るべき世界経済戦と東亜民族の覚悟

新城 朝功 6 - 8

沖縄県人の植民地的性格 永丘智太郎 8

蛙鳴蟬噪 本山 裕兒 9

琉球歴史読本 第二章 為朝時代(二) 石川 文一 10 - 12

名所旧蹟(その一) 安里八幡 12

琉球の爬虫両棲類(とがげとかへる) 當眞 嗣元 13 - 15

琉球十月の行事 15

琉球人物史伝―俊傑・謝花昇 16 - 17

女らしさ 高山 廣子 18

読んで伺う感ずる?―文化映画「琉球の民芸」評 田邊耕一郎 19

社告「外山貞男」*弊社写真部主任・入社 19

映画小説「沖縄の姿」審査発表座談会

出席者・山城正忠義／島袋源一郎／諸

見里朝清／志喜屋孝信／渡邊政憑／仲

泊良夫／與儀清三／馬上太郎(写真) 20 - 21

シナリオ・ライターになるには 21

南山の一本柱智勇備の古英雄―國吉之

比屋の事ども 東江長太郎 22 - 24

口碑伝説―鬼餅と大里鬼 24 - 25

文化沖縄抄―南島の舞姫日劇出演／日

伯文化座談会／文化座談会／反英県

民大会／科学英語シナリオ募集／沖

縄の姿審査結果発表／(写真・新垣芳

子の「谷茶前」) 26

苔の下(完) 平敷屋朝敏・作 27 - 31

最近二つの問題 島袋 全發 31

「民芸の扱い方」 杉山 平助 31

「方言問題統一」の一節 柳田 國男 31

原稿募集 26

編輯の辯 32

奥付 32

*広告 表 3

*広告 歌集『紙錢を焼く』山城正忠著 表 4

第一卷第四号 *通巻第四号

十一月号

昭和十五年十一月十五日発行

表紙 絵「農村乙女」	金城安太郎	表 1
*広告		表 2
口絵 写真「舞踊美、南国の薫り、壺屋風景」 撮影…太田安敏／曲田益雄	(1) (4)	(5)
十一月号目次		
農民と映画	坂井 二郎	6 7
琉球歴史読本 第三章 舜天王時代(三)	石川 文一	8 10
琉球の「芝居と舞踊」評		10
蛙鳴蝉噪	本山 裕兒	11
琉球舞踊と歌詞 (写真・新垣芳子の「カナヨ」 「鳩間節」 「四ツ竹踊」 「谷茶前」)	島袋源一郎	12 17
琉球の伝説集(その一) 謝名親方の死		
と左御紋	又吉 盛二	18 20
新聞の新聞―次に来る者・新聞人の危機		19

口碑伝説―琉球の浦島物語

*読者感想

宮尾しげを

21

東京Ⅱ琉球／旅の点描

本山 裕兒

22 | 24

琉球十一月の行事

24

名所旧蹟(その二)―崇元寺

25

原稿募集

25

癖の挨拶

前澤 末彌

26 | 27

文化沖縄抄―標準語問題再燃／時事映画指定上映／新体制座談会／淵上県

知事新体制講演／台美展入選作問題

化／興亜塾創設

*社告 東京支社開設

28

沖縄の野球

Y・M・Y

28

連載長編小説「琉球の復讐王」(第一回)

石川 文一

29 | 31

編輯の辯

32

奥付

石川 文一

32

*広告

表 3

*広告

表 4

歌集『紙錢を焼く』山城正忠著

表 3

歌集『紙錢を焼く』山城正忠著

表 4

第一卷第五号 *通卷第五号

十二月号

昭和十五年十二月十五日発行

琉球十二月の行事

*短歌 識名園

宮里 浩司

15

琉球の伝説集(その二)

琉球の由来記

又吉 盛二

18

表紙 絵「農村の乙女」

金城安太郎

表 1

*短歌 芋掘り

山城 正忠

19

*広告

表 2

郷土資料研究—久米島紬の創始

口絵 写真「南島余情／斜面の屋根／近

馬天居士

20

代色」 撮影・太田安敏／本社写真部

(1) — (4)

原稿募集

花園 歌子

20

十二月号目次

(5)

琉球舞踊小見

花園 歌子

21

新体制下の沖繩農民

杜聖 林雄

6 — 7

東京支社社告

*支社主任・前澤末彌

21

琉球歴史読本—第四章 義本王時代

が病氣入院

藤田晋一記

21

石川 文一

8 — 10

文化映画—シナリオと眼

島本 隆司

23

文化寸言

藤田 晋一

10

沖繩の旅

矢部 信壽

22 — 23

蛙鳴蟬噪

本山 裕兒

11

時局随筆—隣組

山崎 謙太

24 — 25

神崇(カミダリー) (神罪)

馬天居士

12 — 13

*随筆 きもの

椿 澄枝

26 — 27

*広告 藤田晋一『新短歌集・街の切符』

琉球新景勝地紹介(その一)

波上夕照

27

第一芸術社

(那覇市)

山城 正忠

27

琉球人物史伝—勇敢・奥浜船頭

バル

文化沖繩抄—跣足取締規則公布／海外

チエック艦隊最初の発見者

14 — 15

同胞代表座談会／海外神社を創建／

地名考二つ三つ

玉城 貫

16 — 17

皇太后宮職来県／大政翼賛会支部委

員発表／新体制講演会

28

今日一日之事―故安田善次郎座右銘

9

連載長編小説―琉球の復讐王(第二回)

蛙鳴蟬噪

本山 裕兒

10

石川 文一 29―31へ28

文壇大御所の横顔―大人としての菊池寛 写真「菊池寛、中野実を出迎えた

編輯の辯

本山／藤田

32

淵上知事」

11―14

奥付

32

山中 賛平

* 広告

表 3

新体制と武士道

柴田 米三

12―14

* 広告 歌集『紙錢を焼く』山城正忠著

表 4

不発弾―或る会話

A 記者

12―14

照明弾―開洋会館

馬齒居士

14

第二巻第一号 * 通巻第六号

一月二月合併号

A 記者

15

昭和十六年一月十五日発行

琉球の年中行事 一月

15

琉球歴史読本―第五章 英祖王時代(五)

表紙 絵「糸満娘」

金城安太郎

表 1

石川 文一

16―17

* 広告 大日本良書推薦会

表 2

* 広告 歌集『紙錢を焼く』山城正忠著

口絵 写真「那覇港／南国風景／南島の冬」 撮影…太田安敏／墨壺子生／西

国民芸術としての映画

北川 鐵夫

18―19

銘生一／山下哲男／石木生

琉球伝説集(その三) 琉球入墨由来記

20―22

迎春之辭

(1)―(4)

原稿募集

又吉 盛二

22

一月二月合併目次

(5)

道に就て

山城 正忠

22

天孫民族と沖繩種族

6―9

日本精神の本質(「通信の知識」より

山城 正忠

22

天孫民族と沖繩種族

龜谷 哲

6―9

日本精神の本質(「通信の知識」より

山城 正忠

22

転載)

丸山 幹治

23
|
25

県下三朝刊新聞社合同／「琉球レ
ヴュー」舞台模型出品／菊池寛・中野

人事動静「仲井眞宗一／伊江朝助男／山

城正忠／眞栄城守行／仲原善忠／馬

上太郎／仲原善徳／大城兼義／安次

富松梅／比嘉良篤／久高將旺

典「上演／「沖繩新報」創刊披露会
連載長編小説「琉球の復讐王」第三回
31

随想－仕事をする態度 風見 章子

金城安太郎・画 石川 文一 32
|
35

新体制と農山漁村の娯楽 馬上 太郎

*短歌 二人集 井澤 湫 35

社告 各地支局・支部募集

*短歌 二人集 緒方 静子 35

社告 東京支社御挨拶 前澤 末彌

沖繩健児此処こ在り－大和男児と散つ

琉球の劇・組踊 B 記者

た知花清一 本県徴兵令実施最初の

文化映画評－蛇皮線の國(國光映画)

海兵 B 記者 35

登川 尚佐

編輯後記 本山 生 36

年をとること (*写真あり)

お詫び 文化沖繩編輯部 36

山田五十鈴

奥付 36

名所旧蹟－和解森(その三)

*広告 36

琉球の年中行事 二月

*広告 本山萬吉遺著『馬天居士集』 表
4

文化沖繩抄－第六十回通常県会／西園

寺公望公爵薨去／海軍協会支部発表会

式／波上宮遷座祭執行／糖業問題

第二卷第二号 *通卷第七号

三月号

演説会／大政翼賛会支部役員発表／

昭和十六年三月十五日発行

表紙 絵「糸満娘」	金城安太郎	表 1	宮良（*當壯）氏の雄篇『日本方言採訪類篇』	18
*白紙		表 2	琉球を想ふ	19
口絵 写真「唐獅子／波上宮の屋根瓦、壺屋、ちぬぶの家、珍花／泉崎橋」			琉球歴史物語―「尚敬王時代―主として平敷屋朝敏のこと―」	20―21
撮影・石木生／墨壺子生／太田安敏		(1)―(4)	芋酒よりも芋粕を造れ―超非常時下の沖繩、県民の食糧自給策に仲吉	22―23
新たなる闡明		(5)	近著紹介―『久米島史話』（仲原善秀編）	23
三月号・目次		(5)	蛙鳴蟬燥（写真「津嘉山共同製糖場」）	23
南進論	新城 朝功	6―8	郷土人と言葉	25―27
武道即生活	摩文仁賢和	9	血だるまとなってト―チカを爆砕―	24
影面雑記（かげともざつき）	島袋 全發	10―11	噫！勇猛、我如古兵長―近くその精神を皇軍訓育資料に	28
*たより	佐藤惣之助	11	甘藷大主一野國總管の墓	27
新体制下の教育	新崎 寛直	12―13	銃を護って片手で死闘！	27
をちこち散歩記	島袋 盛敏	14―15	兵の責任感―戦陣訓をそのままの活きた資料	29
*短歌 折にふれて	大瀧 晴子	14	最新県外在住沖繩県人住所録（一）	30
琉球新景勝地紹介（二）	比謝川溪流		京の部／大阪の部／兵庫の部	
写真・比謝橋	山城 正忠	15		
大熊祝女神祭（だいくまののろがみまつり）―僕の第二大熊紀行の一節				
	新屋敷幸繁	16―17		
民族の代表者	比屋根安定	18		

文化沖繩抄 淵上知事勇退／新知事決

定発令／早川新知事赴任／二中創立

三〇周年／那覇糖商組合解散／「琉球

史料叢書」刊行／糖業課長異動（写

真「早川知事、松田聯隊區司令官」）

人事動静 渡口精鴻／富名腰義珍／新

城朝功／宮城幸安／新城正一／宮里

貞寛／山城正忠／上原仁太郎／比嘉

春潮／新崎寛直／池原喜喜代氏／八

幡一郎／山之口貌／「在京沖繩県学

生会

*おしらせ 移転・海外同胞中央会

編輯の辯 前澤 末彌

新著紹介 『山之口貌詩集』

奥付 *昭和十五年と誤記

*白紙

*広告 「山城正忠・序、金城安太郎・

装幀「馬天居士集」(本山萬古遺著)」

第二卷第三号 *通卷第八号

四月号

昭和十六年四月十五日発行

表紙 絵「舞姫」 金城安太郎

*白紙

口絵 写真「チンチン馬小、新芽、ガ

ジマルの根、崇元寺橋、バナナ実る、

高倉、椰子茂る」撮影..加藤亀太

郎／石木生／墨壺子生／太田安敏

大政翼賛会実践要項抜粋

四月号・目次

颯風と沖繩県民性 米國 三郎

トピック・ニュース 太古琉球列島―

支那と陸続き 『宮古島生成史』で発

見さる

近著紹介 『蘭印の人形芝居』松原晚香著

移民沖繩として「話聴教育を起せ！」(一)

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

表 1

表 2

	製作随感―個展作品	大嶺 政寛	13		
	阿麻和利と人盗人	山田 有幹	14―16		
	空手物語 (写真「早稲田大学道場」)	富名腰義珍	16―19		
	近著紹介 安里延著「沖繩人海外発展史」		19		
	*随筆 豌豆の花	新崎 盛敏	20―21		
	帰省雑感(一)	我謝 秀裕	21―23		
	生活改善上 献酬を廃止せよ	渡口 精鴻	23		
	たより	須藤 利一	22		
	屋根獅子	宮良 當壯	23		
	蛙鳴蟬燥 出る杭はうたれる／恥なきもの幸也／琉球郷土玩具／沖繩県人	本山 裕兒	24		
	ニュース・月報 大政翼賛会文化・経済委員決定―顔触れ決定す／同時に郡支部委員も発表		25―26		
	琉球植物雑感(一)	多和田眞淳	26―27		
	*短歌	井澤 湫	27		
	*短歌	緒方 静子	27		
	名所旧蹟(その四) 観音堂		28		
	琉球三月の行事		28		
	トピックニュース 南進日本の拠点に		28		
	拓南訓練所 金武と糸満に三月から		29		
	琉球四月の行事		29		
	文化沖繩抄 當山久三翁伝記／大臣賞を山城宗隆君授与／漫画家「宮尾しげを画伯来島」／「南島」南島叢書発刊／男師創立六十周年記念式／南蠻行、地名辞書刊行／拓南訓練所開所／南方漁場開発へ壮途／久留島貳彦先生講話会／古我知伍長の銅像／「沖繩人の海外発展史」、台湾から湖北丸で		30		
	2―12来沖、20日帰京		30		
	最新県外在住沖繩県人住所録(二) 東京の部／大阪の部／取消(*訂正情報)		31		
	編輯の辯		32		
	次号予告		32		
	横浜「北山会」便り		32		
	奥付		32		

*白紙

表3

近著紹介 『躍進南洋サイパンの全貌』

*広告 山城正忠・序、金城安太郎・

(サイパン記者倶楽部員共著)

9

装幀「馬天居士集」本山萬吉遺著

表4

随想 沖繩と季感

守屋 美雄

10 | 11

第二卷第四号 *通巻第九号

五月号

龜谷 哲

12 | 13

昭和十六年五月十五日発行

文化落語「首里見物の会」

末 彌

13

読者は寄す 大阪・又吉嘉徳／横浜・

仲間信夫

13

表紙 絵「舞姫」

金城安太郎

表1

琉球使節の江戸入り

宮尾しげを

14 | 16

*白紙

表2

南島往来 水島治夫／川島理一郎／金

口絵 写真「井戸、屋門、生活の一部、

山平三画伯

16

雨後、榕樹の蔭、墓と那覇 娘、龍

随筆 郷土の演劇

山田 有邦

17 | 18

潭池」撮影・西村菊雄／墨壺子生／

帰省雑感(完)

我謝 秀裕

18 | 19

太田安敏

(1) | (4)

日本武士道の一分派として確立せる空

県人会再編制

(5)

手道

摩文仁賢和

19 | 22

五月号・目次

(5)

北から南から

下條策太郎

21

欧州人の記録に現れた南島日本人の性格

新婚旅行は琉球へ (写真「新垣澄子ら」)

安里 延

6 | 8

巖 きみ子

22

黒糖と文化映画—文化映画の意義と製作

琉球新景勝地紹介(三)「瀬長白沙」

本山 裕兒

8 | 9

山城 正忠

23

琉球5月の行事

第二巻第五号 *通巻第一〇号

琉球植物雑感(二)

多和田眞淳

24 | 25

消息 大宜味朝徳／玉盛榮人／盛島明長

昭和十六年六月十五日発行

25

“靖国の父”に對面の可憐 遺児部隊・

六月号

25

九段土産

前澤 末彌

26 | 27

表紙 写真「梯梧の花」

太田 安敏

表1

トピック・ニュース 洋服地になる麻

*白紙

表2

と芭蕉布

27

気候も風土病も“観光沖縄”の名に恥じ

口絵 写真「石橋の粹、六月の潮、海の子」撮影：加藤亀太郎／太田安敏 (1) (4)

ず誇張を破る統計

28

農村娛樂問題

5

最新県外在住沖縄県人住所録(三) 北

六月号・目次

5

山会会員／城南同志会会員／訂正／

大沖縄市建設計画案

當間 重剛

6 | 9

県人会の動き活発／本年専門校以上

琉球遣明使臣の姓に就て

安良城盛雄

10 | 11

卒業者動静

文化推進—琉球の映画

山本嘉次郎

11

東京沖縄県学生会沿革／東京沖縄県学

隨筆(五篇)

12 | 18

学生会則

記録による琉球の信使

宮尾しげを

12 | 13

編輯の辯

娛樂と映画政策に就て

北山 良平

13 | 15

*白紙

実録・大新城(ウフアラグシク)

久米 道人

15 | 16

*広告 山城正忠『歌集・紙錢を焼く』

表4

沖縄と老人

大城 朝亮

16 | 17

帰省雑記

當眞 嗣光

17 | 18

文化推進―映画と音楽	田邊 尚雄	18	消息 沖縄郷友会総会／早川知事歓迎会	30
和光同塵 学園問題／闇防止／文化映画	本山 裕兒	19	口碑伝説―キジムの復讐	31
連載・琉球記(一) 須藤利一訳			消息 村山憲司／辻野永教／訂正	31
文化沖縄抄―本県窯業に貴重な発見／	W・ビーチ	20 21	編輯の辯	32
文化映画「沖縄島記」／「黒い太陽」／			記事訂正	32
沖縄放送局／「空の女王」		22	奥付	32
雑詠	永島 榮子	22	*白紙	表 3
最新県外在住沖縄県人住所録(四) 東			*広告 歌集『紙錢を焼く』山城正忠著	表 4
京の部／訂正／大阪の部		23	第二巻第六号 *通巻第一一号	
シナリオ 沖縄島記三部作―海洋民族			七月号	
	村田 達二	24 29	昭和十六年七月十五日発行	
琉球新景勝地(四) 辻原清明				
	山城 正忠	29	表紙 写真「梯梧の花」 太田 安敏	表 1
人事往来 比嘉春潮／宮城清／比嘉政			*白紙	表 2
光／山城正利／栗國永三郎／高安朝正		29	口絵 写真「亜熱帯圏の植物、南進沖縄	
県下芸術団体を統合―沖縄地方文化聯			の夏に拾ふ、滅びゆく琉球玩具」 撮	(4)
盟結成 新文化建設に県翼賛会と協力		30	影・太田安敏／西村菊雄	
琉球六月の行事		30	聖戦第四周年	5
			七月号・目次	5

	餘りに沖縄的な	眞榮田義見	6	文化沖縄抄「べ博士の報告書」発見／
	文化推進―琉球の文化	加藤 三吾	7	日本協同党結社／沖縄歴史実証発
	古代文化の探究と琉球種族	亀谷 長輝	8	表／探偵小説家来県／熱帯珍魚採捕
	映画		10	隊／名園を史跡名勝天然記念物に／
	琉球新景勝地(五)	普天間松風	11	久松五勇士劇／大阪―那覇直通電
	随筆五編	山城 正忠	11	話／沖縄文芸協会結成／本県漆器好評
	民俗採訪談	源 武雄	12	*歌謡 島で別れて
	パラオと沖縄県人	大宜味朝徳	12	*歌謡 砥石峠
	鼻崎の記	蝸牛庵主人	14	音楽と舞踊
	沖縄の言葉	卒土 濱人	14	音楽と舞踊
	復姓の辯	伊地 朝義	16	消息 高嶺朝達／照屋林頭／山城正
	初の空手道合同演武大会		17	順／照屋林蔚／我部政敏／安次嶺幸
	和光同塵 感謝の表情／都会と農村／		18	英／神谷乘仁／東京沖縄県学生会主
	佐賀藩老土物語箇条覚書	本山 裕兒	20	催の行楽
	連載 琉球記(二)	須藤利一訳	20	口碑伝説―白鴉
	眞南向かて見れば	W・ビーチ	21	最新県外在住沖縄県人住所録(五)
	演劇	石邊 勘太	22	大阪の部／東京の部
	琉球の七月の行事		23	編輯の辯
			24	奥付
			25	*白紙
			26	*広告 歌集『紙錢を焼く』山城正忠著
			26	
			27	
			28	
			28	
			29	
			30	
			31	
			32	
			32	
			表 3	
			表 4	

第二卷第七号 *通巻第一二二号

八月号 創刊一周年記念

昭和十六年八月十五日発行

表紙 写真「首里城大龍柱」太田 安敏

*白紙 表1
表2

口絵写真 「地方文化工芸の粹、南国・

真夏の陽光、白銀門と城塀」

太田 安敏 (1) - (4)

目次(八月創刊一周年記念号) 5

第一会大政翼賛会 中央協力会議―主

として映画・演劇に就いて 6 - 8

演劇 選歎 十郎 8

県民体位向上策 米國 三郎 9 - 12

映画 映我風碗 北山 良平 13 - 14

沖繩史序説 安里 延 14

文化推進―南進の魁 15 - 24

*随筆 山田 有幹 15 - 17

仏桑花と梯梧 新崎 盛珍 17 - 19

投入花 17 - 19

鹿兒島辯と沖繩口 安良城盛雄 19 - 21

ふと 新垣 淑明 21 - 23

エライとエラクナイ 下條策太郎 23 - 24

和光同塵 一周年記念号／和魂洋才／

白人の日本人評／沖繩の天地

本山 裕兒 25

連載 琉球記(三) 須藤利一訳

W・ビーチ 26 - 27

葉書回答(到着順) 一、一周年を迎えた

郷土雑誌「文化おきなわ」に対する感

想と希望／二、沖繩県人が他府県に

誤解されやすい点、また長所として

誇る点 島袋盛敏、比屋根安定、渡

口精鴻、宮城總、宮良當壯、石川正通、

宮里良保、伊元富爾、新城朝功、我

謝秀裕、南風原朝保、安良城盛雄

郷土芸術文化に就いて 嘉数 能愛 28 - 30

註文帳 沖繩の演劇界 泊 阿 嘉 31 - 32

*俳句 四句 伊東 岸朗 32 - 33

葉書回答 大峰雪夫、尚順、伊豆見元

永、諸見里朝清、當山正堅、守屋美雄、

島袋源一郎、米國三郎、志喜屋孝信

文化推進―地方文化の映画 杜聖 林雄

風俗／編輯の辯

奥付

*白紙

*広告 歌集『紙錢を焼く』山城正忠著

第二巻第八号 *通巻第一三三号

九月号

昭和十六年九月十五日発行

表紙 写真 (首里城) 龍頭 太田 安敏

*白紙

*標語 想起せよ・満洲事変10周年

目次(九月号)

地方文化と文化映画―沖縄島記の製作

意図

琉球八月の行事

地方人として

34 | 35

35

36

36

表 3

表 4

神話に現れた怪物並に動物 亀谷 長輝

音楽と舞踊(宝塚歌劇雪組「弓張月」に

琉球舞踊)

歴代県知事を語る(七)

連載 琉球記(四) 須藤利一訳

W・ビーチ

映画 *「白い壁画」撮影のロケが中止

命令

憂國 三郎

文化推進―海の民

村田 達二

和光同塵

本山 裕兒

ルポール・タージユ 愛楽園探訪記―沖

縄の小島の春(上)

A 記者

随筆

琉歌に就て

加藤 三吾

とにかく映画は映画である

袋 一平

国民学校と家庭教育

松田 義之

児童映画の話

佐藤 弘

本県婦人に同情せよ

馬齒山人

自伝武道記

義村 仁斎

5 | 6

6

7

7

8 | 9

8 | 9

10

10

10

11

12 | 13

12 | 13

14 | 15

14 | 15

15 | 17

15 | 17

17 | 18

17 | 18

18 | 19

20 | 21

21 | 23

琉球王代記(一) 神村 朝義 23 | 24

決意の秋 24

最新県外在住沖縄県人住所録(六) 東

京の部/訂正/川崎市 25

地方文化の再建にわが郷土の「臼太鼓」

お国自慢・農村娯楽 B 記者 26 | 27

社告 郷土風物写真募集 27

「沖縄演劇界」問題顛末記 編輯部 27 | 28

南進譜 X・Y・Z 28

一茶に拾へる 山城 正忠 29 | 30

昨日の問題―昔日話題 一人一語 X・Y・Z 31

編輯の辯 *「口絵写真は掲載中止を余

儀なくさせられた」 32

奥付 32

*白紙 表 3

*広告 歌集『紙銭を焼く』山城正忠著 表 4

第二卷第九号 *通卷第一四号

十月号

昭和十六年十月十五日発行

表紙 写真「獅子」 表 1

*白紙 表 2

*標語 貫け聖戦・ぬかるな援護 1

目次(十月号) 1

県民体位向上対策に就いて 米國 三郎 2 | 5

演劇 泊 阿 嘉 5

歴代県知事を語る(二) 6

歴史と文化 相良 志朗 7 | 8

琉球陶芸の南方系(一) 琉球の古窯趾

を発掘して 山里 永吉 8 | 10

和光同塵 *著者の顔写真 本山 裕兒 11

ルポール・タージュ 愛楽園探訪記―救

癩献身の女性・三上千代氏に訊く(中) A 記者

隨筆 14 | 21

青年の操行 *著者の顔写真 12 | 13

青年教師道の確立	馬齒山人	14	15
巨匠の態度	新垣 淑明	15	17
映画技術者の立場から	菊池 十一	17	19
満州の結婚式の順序	千葉 泰樹	19	20
原始と文化	宮尾しげを	20	21
音楽と舞踊	中村 吉蔵	21	
琉球王代記(二)	神村 朝義	22	23
映画		23	
拓南第一線―沖繩移民数		23	
連載 琉球記(五) 須藤利一訳	W・ビーチ	24	25
沖繩演劇界問題―古典劇復興の秋 *筆		24	
者顔写真	玉城 尚秀	26	27
演劇の問題	下條策太郎	27	28
昨日の話題―演劇界動揺譜 O・S・O		28	29
沖繩移動演劇会の誕生 *会長・山城			
正忠／「脚本部／山里永吉、石川文一、			
渡口政興、仲泊良夫、国吉眞哲、與			
儀清三		29	30

新刊紹介 加藤三吾『琉球の研究』／式			
場隆三郎『琉球の文化』			
最新県外在住沖繩県人住所録(七)			
文化推進―琉球	逗子 八郎	31	
琉球九月の行事		31	
編輯の辯	本 山	32	
社告 郷土風物写真募集		32	
奥付		32	
*白紙		表 3	
*広告 「演劇模型舞台展覧会」(山形屋			
階上展覧会場)主催・沖繩移動演劇会		表 4	
第二巻第十号 *通巻第一五号			
十一月号			
昭和十六年十一月十五日発行			
表紙 写真「那覇市役所」		表 1	
*白紙		表 2	
*標語 國を護った傷兵守れ!		表 1	
目次(十一月号)		1	

「演劇と文化」その他

北川 鉄夫

2 | 4

演劇

丹下 右膳

4

琉球陶芸の南方系(二)

琉球の古窯趾

5 | 7

を発掘して

山里 永吉

5 | 7

愛国の歌

西郷隆盛／梶村文夫

7

歴代県知事を語る(三)

O・K・O

27 | 28

琉球植物雑感(前承)―御膳本草の植物解

パラオ通信 沖縄移民対策懇談会／沖縄県人会総会／南進力行園発会 南洋支局

9 | 12

多和田眞淳

最新県外在住沖縄県人住所録(八)

13 | 15

移動演劇に就て

伊藤 薫朔

15

短歌

比嘉テツヲ

15

連載 琉球記(六)

須藤利一訳

16 | 17

W・ビーチ

随筆

うなされる夢

18 | 24

うなされる夢

新垣 淑明

18 | 19

投入花

新崎 盛珍

19 | 21

南洋群島と水産業

大宜味朝徳

21 | 22

*お知らせ 「愛楽園探訪記」休載

*白紙

22

支那語と沖縄方言との交渉

安良城盛雄

23 | 24

詩謡「故里」

比嘉テツヲ

24

風俗

組踊の発生と中城若松に就て

24

上間 朝久

*お知らせ 郷土風物写真募集

25 | 26

昨日の話題―地方文化の復興

26

パラオ通信 沖縄移民対策懇談会／沖縄県人会総会／南進力行園発会 南洋支局

27 | 28

最新県外在住沖縄県人住所録(八)

28

おしらせ *県人県外在住者の住所情報依頼

29

短篇小説「馬」(挿絵／金城安太郎) *未尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

報依頼

29

尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

尾は文が尻切れになっている

29

第二卷第十一号 *通卷第一六号

十二月号

昭和十六年十二月十五日発行

表紙 絵「鳳凰」

*白紙

*標語 一億が債券買って総進軍

目次(十二月号)

素人演劇運動の理念(案)	遠藤 慎吾	2	1	8
文化と云ふことは	北山 良平	9	1	10
沖縄方言の文法的的一面観	安良城盛雄	10	1	12
「白い壁画」の文化的意義	式場隆三郎	12		
「白い壁画」の製作に就て	白井 英夫	13		
沖縄文芸作家協会結成		13		
連載 琉球記(七) 須藤利一訳				
教育振興座談会(上) 主催/島尻郡教 育会修養部 問題..郡教育振興策如 何/郡教育会発展策に就て/郡民性 の長所・短所・其の矯正方案/教員	W・ビーチ	14		15

の修養娯楽に対する初見/その他

出席者..與那國善三/諸見里安昇/

津波徳助/長嶺由政/新垣照盛/我

喜屋宗英/新城照盛/福地精英/大

城敏輝/當眞嗣昌/宇久里眞盛/仲

村渠昌直/久保田次郎/仲村渠直

雄/知念喜吉/森山紹貞/外間長

賢/西銘康峻/翁長朝義/邊土名朝

助/奥濱清吉/安富祖忠清/仲尾次

嗣善/城間辰藏

琉球陶芸の南方系(完) 琉球の古窯趾

を發掘して 山里 永吉

琉球植物雑感(承前)―御膳本草の植物解

多和田眞淳

音楽と舞踊

演劇改善問題を繞りて 石川 文一

映画―国民学校の映画教育 憂国 三郎

和光同塵 *著者の顔写真 本山 裕兒

サイパン島通信―南洋支局 大宜味朝徳

短篇小説「馬」(2)(挿絵/金城安太郎)

16	1	19
20	2	21
21		
21		
21		
23		
23		
24		
26		
26		
27		
27		
28		

南洋に活躍する県人 松本福本両病

院/安元氏活躍/進展する県人の人々

おしらせ *県人県外在住者の住所情報

報依頼

奥付

*白紙

*広告 『琉球歴史小説集』山里永吉著、

『鷲泉随筆』尚順著、『物語琉球史』石

川文一著

第三卷第一号 *通巻第一七号

一月新春号

昭和十七年一月十五日発行

表紙 絵「鳳凰」

*白紙

*標語 進め一億火の玉だ

目次(新年号)

戦捷の感激を生かせ!!

佐藤惣之助

*詩 大詔を拝し奉りて

地方文化と生活文化

本県女教師に望む(上)

戦争手帖 戦争と通信基地/ボルネオ

に日本人島/戦略と天候象/布哇の

邦人/ビール罌爆弾

*標語 屠れ! 米英われ等の敵だ!

一人一語-戦争と文化 藤田徳太郎

戦捷(笑唄話)

新体制は遊女より

教育振興座談会(下) 主催/島尻郡教

育会修養部

*標語 見たか戦果 知ったか底力 進

め!一億火の玉だ!

連載 琉球記(完) 須藤利一記

W・ビーチ

空襲に血走るな 情報局で壁新聞

随筆二篇

偉大なる一人の詩人 新垣 淑明
ブラジル風景Ⅱサン―パウロⅡ 16―18

尚順『鷺泉随筆』、石川文一『物語琉球史』 表 4

*短歌 敵性撃滅 佐藤清太郎 18―19
土岐 善麿 19

第三卷第二号 *通巻第一八号

琉球の古来工芸品(上)

二月号 南進問題特輯号

沖繩工業指導所編 20―22

昭和十七年二月十五日発行

子供の文化を覗く 亀谷 長輝 22―25

豆戦艦 比律賓群島／ミンダナオ島ダ

表紙 絵「孔雀」 表 1

ヴァオ／香港／ウエーキ島／ペナン

島／グアム島／ミッドウェイ島／米

の航空機生産高 16―23

*短歌 雷火 太田 水穂 24

*標語 尽くせ総力 護れよ東亜 25

和光同塵 本山 裕兒 26

短篇小説「馬」(完) (挿絵／金城安太郎)

新垣 庸一 27―30

大東亜戦戦果日誌 31―32

奥付 32

*白紙 表 3

*広告 山里永吉『琉球歴史小説集』、

とは? 9―11

新垣 淑明 4―5

豆戦艦 マニラの関門／マレー半島の王 6―9

笑止! 米英 宣伝戦の実相 硝煙なき

戦い 乱れ飛ぶ電波戦／ボルネオ島

戦争手帳	ハワイ空襲譚／道案内の猿		
公／軍費調達に接吻売り／戦争と擬装／珊瑚礁とは？—微生物の墓場へ			
珊瑚虫が寄生		9	14
本県女教師に望む(中)	米國	12	14
*標語 戦ひ抜かう大東亜戦		14	
和光同塵—翼賛運動の再出発			
琉球の古来工芸品	沖繩工業指導所編	16	17
連載・琉球人南進史(1)	比律賓群島篇	18	19
随筆二篇		20	25
明暗道中記	山城 正忠	20	23
シンガポール—旅の独白・回想			
文化映画「海の民」	本山 裕兒	23	25
*唱歌 半学半農教育と我が沖繩の理想	村田 達二	21	22
南洋はどんな処か	ワクガミ・ロー人	22	25
琉球人の盡忠精神	(*沖繩海洋發展史		
より)	安里 延	26	27

わが南進陣営—南方資源開發邦人企業史		27	30
戦争挑発者 ルーズヴェルト大統領一家		31	32
戯曲 十二月八日	石川 文一		
奥付		表	3
*あいさつ 演劇は戦時下の精神的軍需品!!—南進座		表	4
第三卷第三号 *通卷第一九号			
三月号			
昭和十七年三月十五日発行			
表紙 絵「鳳凰と竹」		表	1
*白紙		表	2
*標語 此の感激を増産へ		1	
目次(三月号)		1	
時局と程順則	龜谷 哲	2	5
断腸の程順則	上間 朝久	5	7
南方發展の先駆者沖繩	村田 達二		7
琉球人南進史(2)		8	9
回想録(一)	島袋 盛敏	9	11

世界の戦費(十九世紀以降/日本の戦費)			11
ニュース映画と劇映画—一九四一年戦時下ドイツ映画院会議とゲツベルス			
宣伝相の報告	佐々木能理男	12 14	
統合と映画政策	北山 良平	14 16	
本県女教師に望む(完)	米國 三郎	17 19	
随筆三篇		20 23	
笑は幸福の表現	渡口 精鴻	20	
比島モロ族談義	仲原 善徳	21	
悠遠なる構想	新屋敷幸繁	22 23	
*詩 宝石	鈴木 練一	23	
小さな誤解—海南小話より	柳田 國男	24 26	
映画 沖繩ロケの異色篇「白い壁画」			
脇役の活躍		26	
シンガポール陥落口説/大東亜戦	高良 陸輝	27	
和光同塵	本山 裕兒	28	
風呂談義		29 31	
日本からの飛行時間—時速400キロの機で		31	

*標語 戦い抜こう大東亜戦			31
編輯の辯	本山		32
奥付			32
*空白			表 3
*広告 『琉球歴史小説集』山里永吉著、			
『驚泉随筆』尚順著、『物語琉球史』石川文一著			表 4
*『月刊文化沖繩』THE MONTHLY Bunkwa Okinawa published the Bunkwa okinawasha (英語の表示)の号まで)			表 4
第三卷第四号 *通巻第二〇号			
四・五月合併号			
昭和十七年五月十五日発行			
*奥付の発行月は「四月」、表紙と裏表紙は「五月」			
表紙、絵			表 1
*白紙			表 2

*短歌 佐久良東雄

饒舌録 伊地 啓

師範学校昇格問題 *談 仲吉 良光

*短歌 山上 憶良

首里のあけくれ 大瀧 晴子

回想録(二) 島袋 盛敏

東亜新秩序と民族主義 仲榮眞助八

首里城の風韻 新崎 盛珍

*短歌 齋藤 茂吉

美味近きに在り—苦瓜と糸瓜の料理法

創作 城 食 樂 天

奥付 花城 具志

編輯後記 新崎生/山城生

*白紙

第三卷第六号 *通巻第二二二号

八月躍進号

昭和十七年八月十五日臨時発行

*表紙の発行日は「廿五日」

表紙 題字 尚 鷺泉 表1

表紙 絵「首里城古韻」 胡 尋 牛 表1

*巻頭言 山城 生 表2

扉 写真「法剛柔吞吐」 (1)

大東亜戦争と民俗学の方向 源 武雄 2 | 4

法剛柔吞—空手雑藁 宮城 長順 4 | 7

文化沖縄の建設 眞榮田義見 7 | 9

沖縄の墳墓を憶ふ 山口由幾子 9 | 11

真夏の晝の夢 稲福 全榮 12 | 14

古船に釘打つ 照屋 林 頭 14 | 16

*詩 美しき線 古波 鮫 弘子 14

琉歌鑑賞 伊良 波 長 純 16 | 18

建築から見た本県農村 竹 昇 18 | 22

佛像私議 賀 數 恵 光 23 | 25

食はず嫌ひ 新垣 美 登 子 25 | 27

回想録(四) カタカシラ 島袋 盛敏 27 | 29

*短歌 南 弘 志 30

歌舞伎劇のヒゲ 玉城 尚 秀 29 | 30

美味近きに在り—冬瓜料理 食 樂 天 31

樹陰 江島 寂 潮 32 | 35

俳句 ゆうなの花 眞喜屋牧也 36

*漢詩 皇統歌大 大窪 詩佛 36

編輯後記 新崎 生 表 3

奥付 *「臨時」は誤記 表 3

目次 表 4

第三卷第七号 *通巻第二三三号

九月号

昭和十七年九月十五日発行

表紙 絵「首里城古韻」 山城 正忠 表 1

巻頭言 山城 生 表 2

扉 写真「海邦養秀」 尚 温 王 (1)

時局と外國語 胡屋 朝賞 2 | 4

那覇に住みて 山口富次郎 4 | 5

交通問題一斑 仲吉 良光 5 | 7

論執か法執か 仲吉 朝宏 7 | 8

琉球国王家御紋考 鳥越憲三郎 8 | 12

教育改革第二石—新制師範のことども 新崎 寛直 12 | 17

*詩 旅 宮里 浩司 15

南の印象 谷内勢起子 17 | 20

書道 *著者顔写真 尚 順 20 | 23

瓦と語る 村嶋 豪雄 23 | 26

夏日漫録 島袋 全發 26 | 29

縣民生活改善指針(一) 與那國善三 29 | 31

國学 新崎 盛珍 31 | 36

*俳句 秋の灯と妻と 小野 十露 33

病曆 比嘉 榮眞 36 | 38

短歌 美しき線—いこひ 古波鮫弘子 38

美味近きにあり—揚物料理／塩魚の天 食 樂 天 39 | 40

ぷら 宮尾しげを 40

*たより 玉城 和子 41

「喰はず嫌ひ」を讀みて 南 三郎 42 | 48

享保物語 一 読 者 48

*たより 新崎 生 表 3

編輯後記 表 3

奥付 表 4

目次 表 4

第三卷第八号 *通卷第二四号

十月号

昭和十七年十日発行

表紙 絵

*巻頭言

扉 写真「守礼門」山城正忠画 (伊江男爵蔵)

男爵蔵)

扉 短歌「首里の城守禮の門の春風も／はるかに聞ゆ潮の音かな」(伊江男爵蔵)

晶 子

世禮 國男

沖繩語と南方圏

世禮 國男

*名句私選 秋の風(紫浅茅)

富安 風生

天日を拝す—壁画揮毫前後記

山田 眞山

現代への鬱結

新垣 淑明

眞和志町の行事

山城 瑞喜

*短歌 さらば行け

牧野 英一

琉球船の活躍した範囲

亀谷 長輝

*コラム マカン

薬草礼讃—内数種に就いて

義村 仁斎

18 | 20

「空海」其の他

石川 烏亭

20 | 23

ヒゲの話

鷺 泉

23 | 25

琉球の國文学者達

伊地 啓

25 | 27

表 2

*たより

東京一読者

27

近事雑感

又吉 康和

28 | 30

*コラム 理想即現実

重森 三玲

30

縣民生活改善指針(二)

與那國善三

31 | 35

*詩 意志の礼讃

新崎 盛珍

35

やんばる日記抄

渡井 汀泉

36 | 40

*標語 見たか戦果 知ったか底力

食 楽 天

41 | 42

享保物語(二) 五幕

南 三郎

43 | 48

編輯後記

新崎 生

表 3

奥付

表 3

目次

表 4

第三卷第九号 *通卷第二五号

十一月号

昭和十七年十一月十五日発行

表紙 絵

*巻頭言

扉 写真(程順則の書)

細胞の親和性

*俳句 鷹渡る頃

郷土民芸を語る

N氏と古事記

*母乳成分研究/灯火管制の先鞭

県振興計画の樹て直し—経済調査会の

使命

程順則の詩に就いて

訓練日記

一石を投ず—郷土演芸・かれこれ

*時の測定法

考を語る

神山氏を迎ふる尚順男

歌舞伎の思出で

*短歌

鳥亭氏に答ふ

病暦

美味近きに在り

ある典型

*文展作品

享保物語(三) 五幕

*短歌 照屋城跡

編輯後記

奥付

目次

眞喜屋實紀

玉城 尚秀

佐々木信綱

鷺 泉

比嘉 榮眞

食 楽 天

徳田 安周

荒城 秀夫

南 二郎

*南三郎は誤植

國吉 眞起

新崎 生

30 | 35

35 | 37

37

38 | 40

41 | 43

43 | 44

45 | 50

50

51 | 56

56

56

表 3

表 3

表 4

表 4

表 4

表 4

表 4

表 4

表 1

第三卷第十号 *通卷第二六号

十二月号

昭和十七年十二月十五日発行

表紙 絵「首里城古韻」

山城 正忠

表 1

*卷頭言

表 2

扉 写真「尚侯爵家」(中城御殿)

(1)

愛国百人一首

2 | 6

政治史の一側面

仲榮眞助八

7 | 10

音楽の前途

羽田 健

10 | 14

*漢詩 宣戰大詔煥發之日

徳富 蘇峰

14 | 14

*短歌 十二月八日

臼田 亜浪

14 | 14

昔の瓦と今の瓦

新垣 榮徳

15 | 17

*俳句

中村草田男

17 | 17

秋に住む

徳田 安俊

18 | 20

*短歌 大東亜戦争一年

泉國 夕照

19 | 19

*古典研究

山田 孝雄

20 | 20

懸民生活改善指針(三)―食事の改善

與那國善三

21 | 24

*大和

紀平 正美

24 | 24

僕と珠算

山田 親民

25 | 29

演劇随感

下條策太郎

29 | 31

阿呆の文学

平田 淑子

32 | 33

*俳句 菊

新嘉喜雅郷

33 | 33

三つの死

新崎 盛珍

34 | 39

*漢詩について

趙 翼

39 | 39

享保物語(四) 五幕

南 三郎

40 | 49

*漢詩 正気歌

藤田 東湖

50 | 50

編輯後記

新崎 生

表 3 | 表 3

奥付

新崎 生

表 3 | 表 3

目次

新崎 生

表 4 | 表 4

第四卷第一号 *通卷第二七号

一月号

昭和十八年一月十五日発行

*表紙、扉、奥付、裏表紙の巻号数は

「十一号」と誤植

表紙 絵「首里城瑞泉門」

山城 正忠

表 1 | 表 1

*卷頭言

山城 正忠

表 2 | 表 2

扉 写真「副島種臣の書」

山城 正忠

(1) | (1)

新年に因める名吟

鷺 泉

3 | 3

水戸学瞥見

眞榮田義見

4 | 7

*短歌 新春卷頭の賀詞に代ふ

山城 正忠

5 | 5

*短歌 歳旦	齋藤 茂吉	7	病曆	比嘉 榮眞	44 46
*短歌 門松	落合 直文	7	*井戸からとれる塩の話		
愛國百人一首評釈(1)			新粧の龍潭	新崎 盛珍	47 51
新穀感謝の一日	翁長 良保	8 11	いもと木綿	花城 具志	51 59
趣味の一致	仲吉 良光	14 16	*漢詩 照鏡見白髮	張 九齡	59
*コラム	牧野富太郎	16	*漢詩 秋浦歌	李 白	59
*日章旗について		16	*短歌	夢想國師	59
山坂の達者可心懸事―行軍の心で日目を			*短歌	山岡 鐵舟	59
	新崎 寛直	17 21	編輯後記	新崎 生	60
*詩 魚雷の歌	仲村 渠	22	奥付		表 3
科学断想	新垣 源蔵	23 25	目次		表 4
信心三昧	松本 力	26 28			
歴史と命魂(上)	高良 忠一	29 35	第四卷第二号	*通卷第二八号	
ビルマ奇譚―寶石の庭		35 37	二月号		
峰の嵐か松風か	尚 且	36	昭和十八年二月十五日発行		
瓦屋節の由来と陶工一六	山里 永吉	37 39			
青年運動の提唱	伊良波長純	40 41	表紙 絵「首里城瑞泉門」山城 正忠		表 1
*短歌 勝抜く心	川平 朝令	41	目次		表 2
小母さん、天妃標準語(やまとぐち)			扉 絵「那覇の千人針」*大東亜戦争		
	綾原 一子	42 43	美術展出品	名渡山愛順	(1)

愛國百人一首評釈(2) 歌壇諸大家

井上司朗／吉植庄亮／太田水穂／佐

佐木信綱／齋藤茂吉／窪田空穂／尾

上柴舟

琉球使節を歌へる歌

林 秀雄

護国の神々に仕ふ

仲村渠致権

身辺小話

長田 紀秀

随筆三題(一月のメモより)

喜久川 鼎

*古典について

山田 孝雄

歴史と命魂(下)

高良 忠一

琉歌とおもろ双紙

山口由幾子

病暦(二月)

比嘉 榮眞

比律賓群島の糸満漁民

比嘉 榮

名士の演説

伊地 啓

南洋通信

大宜味朝徳

労務雑記

山城 興純

くすり(薬草)を求めて

久場 仙眼

*コラム

吉田 晴風

*コラム

蘇 東 坡

方圓録

新崎 盛珍

*コラム 無くしたい言葉／量と質

43

療園四年(上)／八重山婆さん

松田 並子

編輯後記

新崎 生

奥付 *「一月号」は誤記

表 3

*白紙

表 4

第四卷第三号 *通卷第二九号

三月号

昭和十八年三月十五日発行

表紙 絵「首里城瑞泉門」

山城 正忠

表 1

目次

扉 写真「龍潭浚渫作業」

(1)

民族の変質と人工問題

石原 徳誠

2 | 8

支那を語る

伊豆見元永

8 | 14

沖繩の風物と俳句

小野 十露

15 | 18

*俳句 早春

恩納 素心

17

観音さま

徳村 静農

19 | 21

*コラム “撃ちてし止まむ”

21

愛國百人一首評釈 松村英一／川田

順／齋藤瀏／井上司朗／吉植庄亮／

今井邦子／佐佐木信綱／齋藤茂吉

*短歌 撃ちてし止まむ 土屋 文明

薬草を求めて(二) 久場 仙眼

聚落地理の序―ヤードイ聚落について

昇 正二

注春莊愛陶三句 上間 草秋

*短歌・漢詩 佐久間象山

*詩 となり組常会 喜友名青島

龍潭浚渫を竣へて 勝連 盛英

病曆(二月) 比嘉 榮眞

療園四年(上) 松田 並子

*コラム 政治家 有馬 頼寧

編輯後記 *二月号は四五―四八まで

の四頁を脱かした」 新崎 生

奥付

*白紙

昭和十八年四月十五日発行

四月号

第四卷第四号 *通卷第三〇号

表紙 絵「壺屋風景」 大嶺 政寛

目次 扉 *卷頭言 比嘉 盛章

国語に対する感激 池宮城秀意

読書界の姿態 西 幸夫

*短歌 三月六日 植竹 昇

農村文化運動と建築 ヤードイ聚落の地理的意義―本県聚落

地理の課題 昇 正二

*短歌 釋 迢空

*短歌 高濱 虚子

郷土の科学 新垣 源蔵

*コラム 撃ちてし止まむ 川路 柳虹

愛国百人一首評釈(4) 歌壇諸大家 窪

田空穂／尾上柴舟／吉植庄亮／松村

英一／川田順／井上司朗／齋藤瀏

20 | 23

表紙	写真「久松五勇士の刳舟」	表 1
第四卷第五号	*通卷第三二号	
五月号		
昭和十八年五月十五日発行		
薬草を求めて(三)	久場 仙眼	24 30
忙中閑談	桑根堂洋士	30 34
野草料理と利根省吾翁	仲吉 朝宏	35 36
病暦(四月)	比嘉 榮眞	36 37
*コラム 一滴の水	宮本 三郎	37
滋味順禮	沖繩栄養食実習会	38 39
春の野菜料理	野崎 文子	39 40
琉球植物雑感(上)―御膳本草の植物解	多和田眞淳	41 43
戯曲 維新仇討譚(一幕)	下條策太郎	44 50
編輯後記	新 崎 生	表 3
奥付		表 4
*奥付は、発行日が「三月」、巻号数が「第四卷第三号」と誤植。		

目次		表 2
*巻頭言		(1)
時局と教育	伊江 朝助	2 4
水戸学瞥見	眞榮田義見	5 6
円覚寺より	清水 徹世	7
英米は如何観られたか	東 一男	8 9
愛國百人一首評釈(5)	歌壇諸大家	
太田水穂／佐佐木信綱／齋藤茂吉／		
窪田空穂／尾上柴舟／吉植庄亮／松		
村英一／齋藤瀏		10 13
おもろと民族意識	世禮 國男	14 18
薬草を求めて(四)	久場 仙眼	18 22
ニ―ニ―とネ―ネ―と	福地 唯義	22 23
病暦(五月)	比嘉 榮眞	24 25
琉球植物雑感(下) 御膳本草の植物解	多和田眞淳	26 30
趣味の草木染	城間 榮祿	30 32
*詩 梯梧の花	蕭 圓 澄	31
*コラム	山口 青邨	32
首里の国宝(一)	新崎 盛珍	33 37

*コラム フランス	星野 隆	37	井上司朗／今井邦子／佐佐木信綱／齋藤茂吉／尾上柴舟／吉植庄亮／松村英一／川田順／齋藤瀏／井上司朗	9 14
久松五勇士の美談	與那國善三	38 40		
家	石野徑一郎	41 47		
*短歌 (漢字表記)		48	*漢詩 大楠公	梁川 星巖
編輯後記	新崎 生	表 3	薬草を求めて(五)	久場 仙眼
*標語 一億一心、言葉は一つ／十億の心を結ぶ、標準語／沖縄県		表 4	洋画寸史	大嶺 政寛
奥付		表 4	物の流れ	嘉手川重利
			光久と琉球と支那	龜谷 長輝
			*漢詩 題青泥市寺壁	岳 飛
			病曆(六月)	比嘉 榮眞
			読後の感想	野崎 眞一
			*漢詩 遊芳野	頼 惟 柔
			*漢詩 芳野	河野 鐵兜
			礼法実践の縣民運動に寄す	仲榮眞助人
表紙 写真「神猫」		表 1	神猫について	清水 徹也
目次		表 2	*コラム 言葉遣ひ	
*巻頭言		(1)	首里の国宝(二)	新崎 盛珍
ことばの意味	仲宗根政善	2 3	*漢詩	斐 迪
水戸学瞥見	眞榮田義見	4 6	(続)療園四年	松田 並子
漢詩から見た琉球使節	佐渡山安治	7 8	編輯後記	新崎 生
愛國百人一首評釈(6)	歌壇諸大家			表 3

*標語 一億一心／言葉は一つ／十億

の心を結ぶ／標準語 (沖繩県)

奥付

儒艮

近事雑感

表 4

病曆(七月)

岩崎 命吉

26 | 28

或る書簡一宗教に就て(上)

佐々木愿三

29 | 30

薬草を求めて(六)

比嘉 榮真

30 | 32

編輯後記

仲里 誠吉

33 | 38

奥付

久場 仙眼

38 | 40

新崎 生

表 3

表 3

第四卷第七号 *通卷第三三三号

七月号

昭和十八年七月十五日発行

表紙 写真「円覚寺の鬼瓦」 清水 徹世

第四卷第八号 *通卷第三四号

目次

表 1

八月号 琉球芸術展望号

*巻頭言

(1)

昭和十八年八月十五日発行

近世日本と外国語

城間 盛善

2 | 7

アメリカン・シンフルトン

表紙 写真「崇元寺石門」

表 1

目次

表 2

琉球漆器に就て

野崎 眞一

8 | 9

*短歌 山本元帥国葬の日 川田 順

仏領印度支那旅行記(二)

與儀 喜宣

2 | 4

*詩 神の金細射(かなままき)

*短歌 大東亜の黎明

窪田 空穂

4

牧港 策夫

13

琉球芸術と伊東博士

豊見川 素堂

5 | 8

沖縄文学韻律考

小野 重朗

14 | 19

*コラム 長州と薩摩

戸田 正三

8

海難記—南洋伝道の思出

照屋 寛範

20 | 26

芸能展の聲なき囁き

安谷屋 正量

9 | 11

書画・彫刻の陳列を終へて	屋部 憲	11 15	目次		表 2
沖繩の陶器	原田 貞吉	16 21	* 巻頭言		(1)
山の香ひ	兼村 寛俊	21 24	戦局の現階段 (談)	漢那 憲和	2 4
標準語を尋ねて	松田精太郎	24 28	仏領印度支那旅行記 (二)	與儀 喜宣	4 6
病曆 (八月)	比嘉 榮眞	28 29	琉球の火術雜考	新垣 源蔵	7 9
或る書簡—宗教に就て (下)	仲里 誠吉	30 33	* コラム 新屋敷氏 (元七高教授) の近信		9
楓橋夜泊断片	湧川 浩	33 34	標準服の問題	綾原 一子	10 13
薬草を求めて	久場 仙眼	35 36	* コラム 衣服		13
荒鷲の雛敵ちゃん	龍 一枝	37 40	薬草を求めて	久場 仙眼	14 20
* 短歌 すめらあじあ	相馬御風	40	* 短歌 奥武山にて	太田 安敏	16
編輯後記	新崎 生	表 3	* 短歌 九年母	太田 郁子	16
* 標語 郷土を / 愛する者は強し / 活			異国人の見た琉球外交	石野徑一郎	21 23
せ / 祖先の創意と工夫		表 4	教材研究余滴	源 武雄	24 25
奥付		表 4	白露漫筆	伊野波石逕	25 30
			病曆 (九月)	比嘉 榮眞	30 31
			敵に学ぶ	野崎 眞一	31 32
			買彼られた話	久場川牛助	32 34
			* コラム 北支より	呉 屋 生	34
			* 詩 私の明星	東 一男	35
			狂人の手紙	新崎 盛珍	36 40
表紙 写真「円覚寺放生池石橋」		表 1			

*コラム 渡嘉敷通寛翁と稲福全名翁

40

食へる野草

多和田眞淳

12 | 14

編輯後記

新崎生

表 3

*コラム 伊野波盛平(もーいー親方)

14

*標語 言う勿れ／英雄世に出でず／

病曆(十月)

比嘉 榮眞

15 | 16

皇民一億／みな英雄

表 4

*詩 あらしの日に

喜友名青鳥

17

奥付

表 4

標準語を尋ねて

松田精太郎

18 | 22

仏領印度支那旅行記(三)

與儀 喜宣

22 | 25

第四卷第十号 *通卷第三六号

十月号 生活の科学化号

沖繩科学小史

S A 生

26 | 27

昭和十八年十月十五日発行

シークワ―サー訓

稲福 全榮

28 | 29

*短歌

高山彦九郎

29

*短歌

橘 千蔭

29

灸の科学

石 原生

30 | 32

飛び安里の話

與那國善三

32 | 34

体位の科学

西郷 親盛

34 | 36

*短歌 学園近詠

五島 茂

36

英米の謀略にかかった伊太利の悲劇

神山 政良

37 | 38

*短歌 平田篤胤／藤田東湖／月照／

梅田雲濱／吉田松陰／有村治左衛

38

*俳句 首里點景／聖戦へ君を送る

眞喜屋牧也

9

科学と逆境と

小野 重朗

10 | 11

科学と逆境と

小野 重朗

10 | 11

門／佐久良東雄

38

幸福の絶頂 二位鷺五朗 39 | 42

*コラム 時局と科学 新崎生 42

編輯後記 新崎生 / 山里 表 3

*標語 『勇氣』と『耐乏』が最高の國民

道徳となつた 表 4

奥付 表 4

第四卷第十一号 *通卷第三七号

十一月十二月合併号

昭和十八年十一月十五日発行

表紙 写真「崇元寺本堂」 表 1

目次 表 2

*巻頭言 (1)

大舛大尉に就て 藤野 憲夫 2 | 3

大舛大尉を偲ぶ 糸洲 朝松 3 | 5

秋夜想出せる詩歌 鷺 泉 6 | 10

首里城正殿の鐘を迎へて 又吉 康和 11 | 14

*たより 追記 伊江 朝助 14

*たより 追記 東恩納寛惇 14

*短歌 田中河内介 14

*短歌 野村望東尼 14

寒露漫筆 伊野波石逕 15 | 18

病曆(十一月) 比嘉 榮眞 18 | 20

新発足したる商工経済会に就て 護得久朝章 20 | 22

*詩 勤勞奉仕 ○○造船所にて 徳田 安俊 21

仏領印度支那旅行記(四) 與儀 喜宣 23 | 25

梵鐘を送る 田原 惟信 26 | 28

無縁墓を訪ねて 佐渡山安治 28 | 30

僕の周圍 徳村 静農 30 | 33

*短歌 松本圭堂 / 鈴木重胤 / 吉村虎 太郎 33

四美具はる 新崎 盛珍 34 | 38

*短歌 伊豆味・瀬底 泉國 夕照 37

*短歌 津田愛之助 38

*短歌 伴林 光平 38

編輯後記 新崎 生 表 3

*標語 舟楫を萬國の津梁と為す / 本

来の面目に帰り／大舩大尉に続かん
奥付

表 4
表 4

嘉榮眞、名渡山愛順、屋部憲、諸見
里朝清、世禮國男、宮里榮輝、又吉
康和

5
|
13

第五卷第一号 *通巻第三八号

新年号

昭和十九年一月一日発行

表紙 「首里之印」

表 1

東亜の愛情を求めて

富原 初子

7
|
11

目次

表 2

*俳句 水仙

小野 十露

16
|
18

*標語 みたみわれ／この大いくさに

勇敢なる糸満人

東恩納寛惇

19

勝ちぬかん

表 2

文化沖縄

新崎 寛直

20
|
21

*巻頭言

(1)

武士の家庭

山口由幾子

22
|
25

沖縄の文化

伊場 信一

2
|
3

*短歌 玉御殿

伊良波長純

23

沖縄のもつ東亜性―旧友におくる

空

嘉手川重利

25
|
27

新屋敷幸繁

4
|
7

或る刑余者

又吉 良輝

27
|
28

葉書回答「沖縄地方文化の動行に就いて／一、過去の文化財の保存（主として文学、工芸歌謡）／二、将来への文化の動行（主として標準語と方言の問題、及び演劇の改善） 小嶺幸慶、比

ものつながり

多和田眞淳

28
|
31

学徒決意

西 幸夫

29

猿年に因んで植物名の二三

31
|
32

*コラム 日本文化 ブルーノ・タウト

32

題、及び演劇の改善） 小嶺幸慶、比

新刊紹介 『琉球文学』小野重朗

32

時言 東亞精神の昂揚／一機でも多く					
思想戦の勝利					
					眞榮田義見
					34
					37
*琉歌					鷺 泉
					35
*コラム 過去の美学					柳 宗悦
					37
郷土史物語 牧志恩河の勤皇					
					山里 永吉
					38
					44
沖繩のかすり					田中 俊雄
					40
					41
*広告 移転・琉球堂書舗					44
*広告 決戦下必勝の新年を奉賀侯／					
文化沖繩社 新崎盛珍／山里永吉／					
大嶺眞英／馬上太郎					表 3
編輯後記					山 里
					表 3
奥付					表 3
*標語 大戦果に応へる途は二百七十億					
貯蓄達成！ もう一機、もう一艦の増					
強のみ！					表 4

著作者名	卷-号-頁	
		4-6-表3, 4-7-表3, 4-8-表3, 4-9-36, 4-9-表3, 4-10-42, 4-11-34, 4-11-表3, 5-1-表3
	【あ】	
相良 志朗	2-9-7	新崎 寛直 2-2-12, 3-7-12, 4-1-17, 5-1-22
東江長太郎	1-3-22	新崎 生→新崎 盛珍
晶 子	3-8-(1)	荒城 秀夫 3-9-50
安里 延	2-4-6, 2-7-14, 3-2-26	有馬 頼寧 4-3-44
安谷屋正量	4-8-9	有村治左衛門 4-10-38
安富祖忠清	2-11-16	伊江 朝助 4-5-2, 4-11-14
綾原 一子	4-1-42, 4-9-10	池宮城秀意 4-4-7
新垣 源蔵	4-1-23, 4-4-17, 4-9-7	井澤 湫 2-1-35, 2-3-27
新垣 榮徳	3-10-15	伊地 啓 3-5-15, 3-8-25, 4-2-30
新垣 淑明	2-7-21, 2-9-15, 2-10-18, 3-1-16, 3-2-4, 3-4-16, 3-5-10, 3-8-10	伊地 朝義 2-6-18
新垣 照盛	2-11-16	石川 正通 2-7-29, 5-1-12
新嘉喜雅郷	3-10-33	石川 烏亭 3-8-20
新垣美登子	3-6-25	石川 文一 1-1-20, 1-1-22, 1-1-表3, 1-2-8, 1-3-10, 1-4-8, 1-4-29, 1-5-8, 1-5-29, 2-1-16, 2-1-32, 2-11-24, 3-2-31
新垣 庸一	2-10-30, 2-11-29, 3-1-27	
安良城盛雄	2-5-10, 2-7-19, 2-7-30, 2-10-23, 2-11-10	石木 生 2-2-(1), 2-3-(1)
新崎 盛珍	2-3-20, 2-7-17, 2-10-19, 3-5-25, 3-5-表3, 3-6-表3, 3-7-31, 3-7-表3, 3-8-35, 3-8-表3, 3-9-15, 3-9-表3, 3-10-34, 3-10-表3, 4-1-47, 4-1-60, 4-2-40, 4-2-表3, 4-3-表3, 4-4-表3, 4-5-33, 4-5-表3, 4-6-38,	石野徑一郎 4-5-41, 4-9-21
		石原 徳誠 4-3-2
		石原 生 4-10-30
		石邊 勘太 2-6-26
		石山 賢吉 3-4-26
		伊豆見元永 2-7-34, 4-3-8
		泉國 夕照 3-10-19, 4-11-37
		一 読 者 3-7-48
		五島 茂 4-10-36

伊藤 熹朔	2-10-13	大宜味朝徳	2-6-14, 2-10-21,
伊東 岸朗	2-7-33		2-11-28, 3-4-26, 4-2-32
伊東 忠太	5-1-15	大窪 詩佛	3-6-36
糸数 昌運	3-5-7	大城 朝貞	1-1-16, 1-2-15
糸洲 朝松	4-11-3	大城 朝亮	2-5-16
稻福 全榮	3-6-12, 4-10-28	大城 敏輝	2-11-16
井上 司朗	4-2-2, 4-3-22,	太田 郁子	4-9-16
	4-4-20, 4-6-9	太田 水穂	3-1-24, 4-2-3, 4-5-10
伊野波石逕	4-9-25, 4-11-15	太田 安敏	1-4-(1), 1-5-(1),
伊場 信一	5-1-2		2-1-(1), 2-2-(1), 2-3-(1), 2-4-(1),
伊波 南哲	1-1-11		2-5-表1, 2-5-(1), 2-6-表1,
今井 邦子	4-3-22, 4-6-9		2-6-(1), 2-7-表1, 2-7-(1),
今井小四郎	1-1-(1), 1-2-(1)		2-8-表1, 4-9-16
伊元 富爾	2-7-29	大瀧 晴子	2-2-14, 3-5-18
伊良波長純	3-5-13, 3-6-16,	大嶺 眞英	5-1-表3
	4-1-40, 5-1-25	大嶺 政寛	2-3-13, 4-4-表1, 4-6-20
巖 きみ子	2-4-22	大嶺 雪夫	2-7-34, 3-4-15
岩崎 命吉	4-7-26	緒方 静子	2-1-35, 2-3-27
植竹 昇	4-4-11	沖縄栄養食実習会	4-4-38
上間 草秋→上間 朝久		沖縄工業指導所編	3-1-20, 3-2-16
上間 朝久	2-10-25, 3-3-5, 4-3-31	奥本 義清	3-9-2
宇久里眞盛	2-11-16	落合 直文	4-1-7
臼田 亜浪	3-10-14	奥濱 清吉	2-11-16
臼井 英夫	2-11-13	翁長 朝義	2-11-16
内田岐三雄	1-1-15	翁長 良保	4-1-12
梅里 政	1-3-(1)	小野 十露→小野 重朗	
梅田 雲濱	4-10-38	小野 重朗	3-5-33, 3-7-33, 4-1-51,
映我風碗	2-7-12		4-3-15, 4-7-14, 4-10-10, 5-1-18
江島 寂潮	3-6-32	尾上 柴舟	4-2-2, 4-4-20,
遠藤 慎吾	2-11-2		4-5-10, 4-6-9

恩河しげる	1-2-28	喜久川 鼎	4-2-12
恩納 素心	4-3-17	菊池 十一	2-9-17
		北川 鐵夫	1-1-6, 2-1-18, 2-8-4, 2-10-2, 3-1-4
		北山 良平	2-5-13, 2-7-13, 2-11-9, 3-3-14
賀數 恵光	3-6-23	紀平 正美	3-10-24
嘉數 能愛	2-7-31	喜友名青鳥	4-3-33, 4-10-17
我喜屋宗英	2-11-16	金武 良章	3-9-27
蝸牛庵主人	2-6-16	金城安太郎	1-1-表1, 1-1-22, 1-1-表3, 1-2-表1, 1-2-22, 1-3-表1, 1-4-表1, 1-4-29, 1-5-表1, 2-1-表1, 2-1-32, 2-2-表1, 2-3-表1, 2-4-表1, 2-10-30, 2-11-29
岳 飛	4-6-26	國吉 瑞泉	4-7-10
風見 章子	2-1-26	國吉 眞起	3-9-56
梶村 文夫	2-10-7	久場 仙眼	4-2-36, 4-3-26, 4-4-24, 4-5-18, 4-6-15, 4-7-38, 4-8-35, 4-9-14
我謝 榮彦	4-10-4	久場川牛助	4-9-32
我謝 秀裕	2-3-21, 2-4-18, 2-7-30	窪田 空穂	4-2-2, 4-4-20, 4-5-10, 4-8-4
勝連 盛英	4-3-34	久保田次郎	2-11-16
嘉手川重利	4-6-24, 5-1-28	久米 道人	2-5-15
加藤亀太郎	2-3-(1), 2-5-(1)	蔵原伸二郎	3-1-3
加藤 三吾	2-6-7, 2-8-14	桑根堂洋士	4-4-30
兼村 寛俊	4-8-21	月 照	4-10-38
川平 朝令	4-1-41	河野 鐵兜	4-6-31
神村 朝義	2-8-23, 2-9-22	護得久朝章	4-11-20
神山 政良	4-10-37		
亀谷 哲	2-1-6, 2-3-10, 2-4-12, 3-2-6, 3-3-2, 3-4-11		
亀谷 長輝	2-6-8, 2-8-5, 3-1-22, 3-8-15, 4-6-25		
川路 柳虹	4-4-19		
川田 順	4-3-22, 4-4-20, 4-6-9, 4-7-12		
漢那 憲和	4-9-2		

【か】

胡 尋 牛→山城 正忠	2-7-35, 3-4-5
古波鮫弘子	3-6-14, 3-7-38
小嶺 幸慶	5-1-5
胡屋 朝賞	3-7-2
吳 屋 生	4-9-34
【さ】	
西郷 隆盛	2-10-7
西郷 親盛	4-10-34
齋 藤 瀏	4-3-22, 4-4-20, 4-5-10, 4-6-9
齋藤 茂吉	3-5-29, 4-1-7, 4-2-2, 4-3-22, 4-5-10, 4-6-9
坂井 二郎	1-4-6
佐久間象山	4-3-32
佐久良東雄	3-5-14, 4-10-38
佐々木愿三	4-7-29
佐々木信綱	3-9-37, 4-2-2, 4-3-22, 4-5-10, 4-6-9
佐々木能理男	3-3-12
佐藤清太郎	3-1-18
佐藤惣之助	2-2-11, 3-1-3
佐藤 弘	2-8-18
佐渡山安治	4-6-7
式場隆三郎	2-2-19, 2-11-12
志喜屋孝信	1-3-20, 2-7-35, 4-10-2
重森 三玲	3-8-30
柴田 米三	2-1-12
島袋源一郎	1-3-20, 1-4-12,
島袋 盛敏	2-2-14, 2-6-24, 2-7-28, 3-3-9, 3-4-13, 3-5-20, 3-6-27
島袋 全發	1-2-29, 1-3-27, 2-2-10, 3-7-26, 4-4-9, 5-1-29
島本 隆司	1-5-23
清水 徹也	4-6-36
清水 徹世	4-5-7, 4-7-表1
下條策太郎	2-4-21, 2-7-23, 2-9-27, 3-10-29, 4-4-44
釋 迢空	4-4-16
舍利屋 敏	2-6-29
蕭 圓 澄	4-5-31
尚 温	3-7-(1)
尚 順	2-7-31, 3-5-6, 3-7-20, 3-8-23, 3-9-38, 4-1-2, 4-11-6, 5-1-16, 5-1-35
尚 旦	4-1-36
昇 正二	4-3-30, 4-4-14
尚 鷺泉	3-5-表1, 3-6-表1
食 樂 天	3-5-30, 3-6-31, 3-7-39, 3-8-41, 3-9-43
城間 盛善	4-7-2
城間 榮祿	4-5-30
城間 辰藏	2-11-16
尋 牛→山城 正忠	
新城 照盛	2-11-16
新城 朝功	1-3-6, 2-2-6, 2-7-29
新屋敷幸繁	2-2-16, 3-3-22, 5-1-4
末 彌	2-4-13

杉山 平助	1-3-31	谷内勢起子	3-7-17
逗子 八郎	2-9-31, 3-4-10	田原 惟信	4-11-26
鈴木 重胤	4-11-33	玉城 和子	3-7-41
鈴木 練一	3-3-23	玉城 貫	1-5-16
須藤 利一	2-3-22, 2-5-20, 2-6-22, 2-7-26, 2-8-8, 2-9-24, 2-10-16, 2-11-14, 3-1-14	玉城 尚秀	2-9-26, 3-6-29, 3-9-35
墨壺子生	2-2-(1), 2-3-(1), 2-4-(1)	多和田眞淳	2-3-26, 2-4-24, 2-10-9, 2-11-21, 4-4-41, 4-5-26, 4-10-12, 5-1-31
正 忠→山城 正忠		丹下 右膳	2-10-4
世禮 國男	3-8-2, 4-5-14, 5-1-5	知念 喜吉	2-11-16
選歎 十郎	2-7-8	千葉 泰樹	2-9-19
相馬 御風	4-8-40	趙 翼	3-10-39
卒土 濱人	2-6-17	津田愛之助	4-11-38
蘇 東 坡	4-2-39	土屋 文明	4-3-25
		津波 徳助	2-11-16
		椿 澄枝	1-5-26
		照屋 寛範	4-7-20
		照屋 林頭	3-6-14
		東京一読者	3-8-27
		當眞 嗣元	1-3-13, 2-5-17
		當眞 嗣昌	2-11-16
		當間 重剛	2-5-6
		當間 正堅	2-7-34
		土岐 善麿	3-1-19
		徳田 安周	3-9-45
		徳田 安俊	3-10-18, 4-11-21
		渡口 精鴻	2-3-23, 2-7-28, 3-1-10, 3-3-20
		徳富 蘇峰	3-10-14
		徳村 静農	4-3-19, 4-11-30

【た】

平 千鶴子	3-9-23		
高橋掬太郎	2-6-28		
高濱 虚子	4-4-16		
高山彦九郎	4-10-29		
高山 廣子	1-3-18		
高良 忠一	4-1-29, 4-2-15		
高良 睦輝	3-3-27, 3-4-25		
竹 昇	3-6-18		
橘 千蔭	4-10-29		
田中河内介	4-11-14		
田中 俊雄	5-1-40		
田邊耕一郎	1-3-19		
田邊 尚雄	2-5-18		

比嘉 榮眞 3-7-36, 3-9-41, 4-1-44,
4-2-22, 4-3-37, 4-4-36, 4-5-24,
4-6-27, 4-7-30, 4-8-28, 4-9-30,
4-10-15, 4-11-18, 5-1-5

比嘉 榮 4-2-27

比嘉テツヲ 2-10-15, 2-10-24

比嘉 盛章 4-4-2

東 一男 4-5-8, 4-9-35

東恩納寛惇 4-11-14, 5-1-19

比屋根安定 2-2-18, 2-7-28

平出 英夫 3-4-2

平田 篤胤 4-10-38

平田 淑子 3-10-32

福地 精英 2-11-16

福地 唯義 4-5-22

袋 一平 2-8-15

藤 田 1-5-32

藤田 晋一 1-5-10, 1-5-21

藤田 東湖 3-10-50, 4-10-38

藤田徳太郎 3-1-9

藤野 憲夫 4-11-2

富名腰義珍 2-3-16

ブルーノ・タウト 5-1-32

文化沖縄編集部 2-1-36

編集部 2-8-27

邊土名朝助 2-11-16

外間 長賢 2-11-16

星野 隆 4-5-37

【ま】

前澤 末彌 1-2-14, 1-4-26,
2-1-27, 2-2-32, 2-4-26

眞榮田義見 2-6-6, 3-6-7, 4-1-4,
4-5-5, 4-6-4, 5-1-34

曲田 益雄 1-1-(1)

牧野 英一 3-8-14

牧野富太郎 4-1-16

牧港 策夫 4-7-13

眞喜屋實紀 3-9-30

眞喜屋牧也 3-6-36, 4-10-9

又吉 康和 3-5-2, 3-8-28, 3-9-13,
4-11-11, 5-1-5

又吉 盛二 1-2-18, 1-4-18,
1-5-18, 2-1-20

又吉 良輝 5-1-27

松田精太郎 4-8-24, 4-10-18

松田 並子 4-2-44, 4-3-39, 4-6-45

松田 義之 2-8-17

松村 英一 4-3-22, 4-4-20,
4-5-10, 4-6-9

松本 圭堂 4-11-33

松本 力 4-1-26

摩文仁賢和 2-2-9, 2-4-19

丸山 幹治 2-1-23

南 三郎 3-7-42, 3-8-43,
3-9-51, 3-10-40

南 弘志 3-6-30

源 武雄 2-6-12, 3-6-2, 4-9-24

宮尾しげを	1-4-21, 2-3-30, 2-4-14, 2-5-12, 2-9-20, 3-7-40	【や】	
宮城 聡	2-2-25	柳 宗悦	5-1-37
宮城 長順	3-6-4	柳田 國男	1-3-31, 3-3-24
宮里 榮輝	5-1-5	屋部 憲	4-8-11, 5-1-5
宮里 浩司	1-5-15, 3-7-15	矢部 信壽	1-5-22
宮里 良保	2-7-29	山岡 鐵舟	4-1-59
宮本 三郎	4-4-37	山口 青邨	4-5-32
宮良 當壯	1-1-14, 2-3-23, 2-7-28	山口富次郎	3-7-4
夢想 國師	4-1-59	山口由幾子	3-6-9, 4-2-18, 5-1-23
村嶋 豪雄	3-7-23	山崎 謙太	1-5-24
村田 達二	2-5-24, 2-8-2, 2-8-10, 3-2-21, 3-3-7	山 里→山里 永吉	
村松 久義	3-2-2	山里 永吉	2-9-8, 2-10-5, 2-11-20, 4-1-37, 4-10-表3, 5-1-表3, 5-1-38
最上 洋	2-6-28	山城 興純	4-2-33
本 山→本山 裕兒		山城 瑞喜	3-8-13
本山 裕兒	1-1-13, 1-1-表3, 1-2-11, 1-2-22, 1-3-9, 1-4-11, 1-4-22, 1-5-11, 1-5-32, 2-1-10, 2-1-36, 2-2-24, 2-3-24, 2-4-8, 2-5-19, 2-5-32, 2-6-21, 2-7-25, 2-8-11, 2-9-11, 2-9-32, 2-10-32, 2-11-27, 3-1-26, 3-2-15, 3-2-23, 3-3-28, 3-3-32, 3-4-29	山城 正忠	1-2-12, 1-2-13, 1-3-20, 1-5-19, 1-5-27, 2-1-22, 2-2-15, 2-4-23, 2-5-29, 2-6-11, 2-8-29, 3-2-20, 3-5-表1, 3-5-表3, 3-5-5, 3-6-表1, 3-6-表2, 3-7-表1, 3-7-表2, 3-8-(1), 3-9-表2, 3-10-表1, 4-1-表1, 4-1-5, 4-2-表1, 4-3-表1
本 山 生→本山 裕兒		山 城 生→山城 正忠	
諸見里朝清	2-7-34, 5-1-5	山田五十鈴	2-1-29
守屋 美雄	2-7-35, 2-4-10	山田 眞山	3-8-7
森山 紹貞	2-11-16	山田 親民	3-10-25
諸見里安昇	2-11-16		
諸見里朝清	1-3-20		

山田 孝雄 3-10-20, 4-2-14

【わ】

山田 有幹 2-3-14, 2-4-17, 2-7-15

山中 賛平 2-1-11

ワクガミ・ロー人 3-2-22

山上 憶良 3-5-17

湧川 浩 4-8-33

山本嘉次郎 2-5-11

渡井 汀泉 3-8-36, 3-9-4

憂國 三郎 2-8-10, 2-11-26

渡邊 政憑 1-3-20

與儀 喜宣 4-8-2, 4-9-4,

4-10-22, 4-11-23

【アルファベット】

與儀 清栄 3-4-18

與儀 清三 1-3-20

A 記者

吉植 庄亮 4-2-2, 4-3-22, 4-4-20,

4-5-10, 4-6-9

2-1-12, 2-1-15, 2-8-12, 2-9-12

吉田 松陰 4-10-38

B 記者 2-1-28, 2-1-35, 2-8-26

吉田 晴風 4-2-39

N・O・N 1-1-8

義村 仁斎 2-8-21, 3-8-18

O・K・O 2-10-27

吉村虎太郎 4-11-33

O・S・O 2-9-28

與那國善三 2-2-20, 2-3-6, 2-7-9,

2-7-35, 2-9-2, 2-11-16, 3-1-6,

3-2-12, 3-3-17, 3-7-29, 3-8-31,

3-10-21, 4-5-38, 4-10-32

S A 生 4-10-25

W・ビーチ 2-5-20, 2-6-22,

2-7-26, 2-8-8, 2-9-24, 2-10-16,

2-11-14, 3-1-14

X・Y・Z 2-8-28, 2-8-31

米國 三郎→與那國善三

Y・M・Y 1-4-28

【ら】

頼 惟 柔 4-6-31

李 白 4-1-59

龍 一枝 3-9-8, 4-8-37

鷺 泉→尚 順